

夢ある 農業 応援団!



株主の皆様へ

第95期

中間(第2四半期)報告書

2018年1月1日 ▶ 2018年6月30日

CONTENTS

ごあいさつ	1
連結決算のポイント	3
事業ハイライト	5
四半期連結財務諸表(要約)	7
会社の概要	8
つくばみらい事業所ご紹介	9



井関農機株式会社

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの西日本豪雨により被災されました皆様には、心からお見舞い申し上げます。

当社第95期中間期（第2四半期）の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

さて、当社グループは、「需要家に喜ばれる製品の提供」を通して、わが国ならびに世界の農業に貢献することを経営の基本理念とし、本年2月には2020中期経営計画を策定、「変革」をキーワードに企業価値向上を図っております。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長執行役員
木下 栄一郎

1. 豊かで、持続可能な社会の実現へ貢献してまいります。

日本ならびに世界の農業に貢献する

わが国農業は、農業就業人口の減少や高齢化、耕作放棄地の増加等、様々な課題に直面しています。

井関グループは、農業の効率化や作業軽減による生産性向上、ICTやロボット技術の活用、省エネ・低コストや環境に配慮した商品提供に加え、先端技術の研究・実証・普及・支援等、ハードとソフトの両面からサポートしています。また、食料自給率向上に向けた食育や地産地消等にも企業をあげて取り組んでいます。

世界では、2050年の総人口は97億人になると予想され、食料生産を大幅に引上げる必要があります。

近年の食料増産の世界的なニーズに対しては、欧州、北米、中国、アセアン等、国や地域によって異なるニーズの把握と商品対応を積極的に行っています。

循環型社会形成に貢献する

環境問題については、循環型社会形成に貢献することを経営の最重要課題のひとつとして、海外拠点も含めて井関グループ全体に環境マネジメントシステム (EMS) を導入しています。

また、商品開発の初期段階から具体的な目標設定と推進管理体制を構築し、環境負荷を軽減する商品開発に取り組んでいます。

2. 事業を通じて社会課題を解決するとともに、企業価値向上を図ってまいります。

国内、海外市場で確固たる地位を築く

井関農機は、2025年に創立100周年を迎えます。

中期ビジョンとして、創立100周年までにグローバルマーケットでも農業機械総合専門メーカーとして確固たる地位を築くことを掲げています。当社の強みを発揮し、世界の市場で競争力のある商品づくりと提案により、国内農業構造変化への対応強化と海外事業の拡大ならびに組織、ガバナンスの強化にグループをあげて取り組み、持続的な企業価値向上に努めてまいります。

人づくり

こうした取り組みの基本はすべて人であり、「人づくり」が重要であると考えています。生産現場に欠かせない技能の向上や継承、お客さまに総合的に営農提案できる、あるいはグローバルに活躍できる人材の育成に加え、多様な人材の活用等ダイバーシティも推進しています。

また、農業や地域活動の重要な担い手である女性農業者を対象とした研修や将来を担う子供たちへの食育活動等、学習の機会を提供しています。

3. 2020中期経営計画 — 変革 —

中期ビジョンへ向けた重要なステップとして、2016年に5カ年（2016年～2020年）の「中期経営計画」を策定しました。その後の環境変化等を踏まえ、実現に至る道筋を確かなものにすべく、2020年までの3年間の戦略について、本年、見直しを行いました。

2020中期経営計画では、「変革」をキーワードとして、5つの基本戦略を実行していきます。

2020中期経営計画〔2018-2020〕

基本理念

“需要家に喜ばれる製品の提供”
を通し わが国ならびに世界の農業に貢献する

中期ビジョン

2025年 創立100周年
「国内・海外市場で確固たる地位を築く」

基本戦略

- キーワード「変革」 — 経営の見える化 —
— 収益にこだわる —
- 5つの基本戦略
 - ① 激変する国内農業への対応強化
 - ② 海外事業の拡大
 - ③ 開発・生産最適化による収益力強化
 - ④ 成長に向けた積極的な設備投資
 - ⑤ 人材・ガバナンス強化による企業価値向上

第95期中間期(第2四半期)の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復に持ち直しの動きが見られ、企業収益や雇用情勢は改善基調で推移しました。また、米国経済の企業業績や雇用環境の改善を受けた底堅い成長や、欧州経済において堅調に回復基調が継続していること、中国経済については、所得環境の改善に伴う個人消費の拡大が景気を下支えしていることなどから、世界経済全体では総じて緩やかな回復が続いています。

一方、国内農業環境につきましては、農業の構造的な変化が進む中、農機市場は回復に向けて底を打ちつつあります。

このような状況の中、当社グループは、国内においては新商品の投入や顧客対応の充実を図るなど、引き続き販売量の拡大に努めてまいりました。また、海外においては主力地域である北米、欧州、中国、ASEANでの販売強化に努めた結果、当社グループの連結経営成績は以下のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2,052百万円増加の82,228百万円(2.6%増加)となりました。国内売上高は、新商品を投入した田植機や作業機・補修用部品・修理収入が好調に推移したことなどにより、前年同期比1,156百万円増加の63,920百万円(1.8%増加)となりました。海外売上高は、中国での現地在庫調整による田植機半製品の出荷減少があるものの、取引条件変更による影響が無くなった北米の増加に加え、欧州におけるキセキフランス社の増収などにより、前年同期比895百万円増加の18,307百万円(5.1%増加)となりました。

営業利益は、施設不採算工事や子会社合併に伴う退職給付計算原則適用による一時的負担のほか、排ガス規制対応商品の開発費用や人件費等の増加により、前年同期比641百万円減少の2,199百万円(22.6%減少)となりました。

経常利益は、為替差損益や持分法投資損益の悪化に加え、前年同期にあった補助金収入が無くなったことなどにより、前年同期比1,535百万円減少の1,839百万円(45.5%減少)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用が減少し前年同期比547百万円減少の1,648百万円(24.9%減少)となりました。

売上高	82,228 百万円	➔
前年同期比	2,052百万円(2.6%)増	
▶ うち国内	63,920 百万円	➔
前年同期比	1,156百万円(1.8%)増	
▶ うち海外	18,307 百万円	➔
前年同期比	895百万円(5.1%)増	

営業利益	2,199 百万円	➔
前年同期比	641百万円(22.6%)減	

経常利益	1,839 百万円	➔
前年同期比	1,535百万円(45.5%)減	

親会社株主に帰属する四半期純利益	1,648 百万円	➔
前年同期比	547百万円(24.9%)減	

売上高

国内：新商品を投入した田植機、野菜作機械や作業機・補修部品の売上が好調に推移したことから増収。

海外：中国での田植機在庫調整に伴う半製品出荷減少があるも、取引条件変更の影響が無くなった北米売上の増加により増収。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

営業利益：施設不採算工事、子会社合併に伴う退職給付費用の一時的増加や開発費用、販管費等の増加により減益。

経常利益：為替差損益や持分法投資損益の悪化のほか、前期にあった補助金収入が無くなったこと等により減益。

親会社株主に帰属する四半期純利益：連結納税制度適用に伴う税金費用の減少等により、経常利益の減益幅が縮小。

国内売上高の内訳 (億円)

	第94期中間期 (第2四半期)	第95期中間期 (第2四半期)	増 減
整地機	170	164	△ 6
栽培機	56	64	+ 8
収穫調製機	55	55	0
農機製品計	281	283	+ 2
作業機	113	118	+ 5
部品	68	68	0
修理収入	25	26	+ 1
施設工事	33	33	0
その他農業関連	108	111	+ 3
合 計	628	639	+ 11

海外売上高の内訳 (億円)

	第94期中間期 (第2四半期)	第95期中間期 (第2四半期)	増 減
北米	35	56	+ 21
欧州	56	60	+ 4
中国	26	9	△ 17
A S E A N	18	20	+ 2
その他	17	11	△ 6
製品計	152	156	+ 4
補修用部品	12	13	+ 1
その他	10	14	+ 4
合 計	174	183	+ 9

1 大型クラス新商品「オールジャパン」発表・発売開始

排ガス4次規制に対応した大型のコンバイン、トラクタを発表・発売開始しました。今回モデルチェンジする大型コンバイン「ジャパン」を“モンスタージャパン”“ウルトラジャパン”とし、“トラクタT.JAPAN”シリーズと合わせ「オールジャパン」として発表いたしました。大規模農家が求める「高能率・高精度・省力化」のニーズに合わせ選べるラインナップを設定し、夢ある農業すなわち儲かる農業をサポートいたします。



ワールドスケールトラクタ「TJW3シリーズ」新発売



この秋、排ガス4次規制適合エンジンを搭載した大型トラクタ「TJW3シリーズ」を発売します。力強い中に、美しさをまとった存在感あるエクステリアデザインに仕上げるとともに、作業適合性を向上させた仕様と装備で、大規模農家ユーザー様の水田から畑作・酪農まで幅広いニーズに応えるトラクタです。

スマートフォンより右側のQRコードを読み込み、井関公式サイトにてTJW動画をご確認いただけます。



熊本・益城から全国へ！



7月5日、全面刷新した「ISEKI コンバイン JAPAN」の出荷セレモニーを井関熊本製造所において、開催しました。同コンバインシリーズは、高能率多条刈りコンバインとして、1995年投入以来、大規模農家の皆様にご愛用いただいております。着実に復興を遂げている熊本・益城町の想いとパワーを乗せ、日本農業の発展に貢献してまいります。

2 特許査定率・分野別登録数 連続第1位

特許庁より「特許行政年次報告書2018年版」が公表され、当社は特許査定率が全産業中6年連続で第1位となりました。また分野別登録数（2006年までは分野別公開数）では農業機械を含む「その他の特殊機械分野」において、通算して17年連続第1位となっております。特許査定率の高さは当社の発明の質の高さ、すなわち技術力の高さの証です。また分野別登録数の多さは、当社の創造活動が活性化し、活発な技術開発が行われている証です。

3 イギリス・アイルランド販売代理店との協力関係強化

4月5日、イギリスとアイルランドにおける新しい販売代理店「プレミアム ターフクエア社」の開所式が行われました。当代理店はこれまでの代理店ランサム・ジェイコブセン社から友好裡に営業権譲渡を受け、前社長と井関農機の共同出資により設立され、イギリスおよびアイルランドのグリーンビジネス市場において、井関製品のさらなる売上・シェア拡大を目指してまいります。



四半期連結財務諸表 (要約)

四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第95期第2四半期末 (2018年6月30日)
資産の部	
流動資産	105,431
現金及び預金	10,806
受取手形及び売掛金	37,187
商品及び製品	45,387
仕掛品	6,776
原材料及び貯蔵品	1,200
その他	4,175
貸倒引当金	△ 102
固定資産	108,636
有形固定資産	96,171
無形固定資産	1,035
投資その他の資産	11,429
資産合計	214,067
負債の部	
流動負債	99,758
支払手形及び買掛金	29,118
電子記録債務	17,248
短期借入金	32,069
1年内返済予定の長期借入金	7,975
その他	13,347
固定負債	43,393
長期借入金	27,705
その他	15,687
負債合計	143,152
純資産の部	
株主資本	53,301
資本金	23,344
資本剰余金	13,453
利益剰余金	17,489
自己株式	△ 986
その他の包括利益累計額	15,849
その他有価証券評価差額金	1,011
繰延ヘッジ損益	12
土地再評価差額金	12,670
為替換算調整勘定	928
退職給付に係る調整累計額	1,226
新株予約権	80
非支配株主持分	1,684
純資産合計	70,915
負債純資産合計	214,067

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	第95期第2四半期 (2018年1月 1日 ～2018年6月30日)
売上高	82,228
売上原価	58,682
売上総利益	23,545
販売費及び一般管理費	21,346
営業利益	2,199
営業外収益	633
営業外費用	992
経常利益	1,839
特別利益	107
特別損失	92
税金等調整前四半期純利益	1,855
法人税等	168
四半期純利益	1,686
非支配株主に帰属する四半期純利益	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,648

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第95期第2四半期 (2018年1月 1日 ～2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,723
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,745
現金及び現金同等物に係る換算差額	40
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,620
現金及び現金同等物の期首残高	7,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,416

○ 会社概要

社名	井関農機株式会社
本社	愛媛県松山市馬木町700番地
本社事務所	東京都荒川区西日暮里5丁目3番14号
創立	大正15年8月
資本金	233億4,474万円
従業員数(連結)	5,743名
事業内容	当社はつぎの製品の製造および販売を主要な事業内容としております。
整地用機械	トラクタ、耕うん機、乗用管理機、芝刈機
栽培用機械	田植機、野菜移植機
収穫用機械	コンバイン、バインダ、ハーベスタ
調製用機械	籾すり機、乾燥機、精米機、計量選別機、野菜収穫調製機
その他	作業機、補修用部品、農業用施設等

○ 役員

	氏名	役付
取締役	菊池 昭夫	代表取締役 会長執行役員
	木下 榮一郎	代表取締役 社長執行役員
	富安 司郎	取締役 副社長執行役員
	豊田 佳之	取締役 副社長執行役員
	兵頭 修	取締役 専務執行役員
	新 真司	取締役 常務執行役員
	金山 隆文	取締役 常務執行役員
	縄田 幸夫	取締役 常務執行役員
	神野 修一	取締役 執行役員
	岩崎 淳	取締役
	田中 省二	取締役
監査役	木元 誠剛	常勤監査役
	岡 厚志	常勤監査役
	川野 芳樹	常勤監査役
	町田 正人	常勤監査役
	平 真美	監査役

○ 主要な事業所

① 当社

名称	所在地
本社	愛媛県松山市
本社事務所	東京都荒川区
砥部事業所	愛媛県伊予郡
熊本事業所	熊本県上益城郡
新潟事業所	新潟県三条市
つくばみらい事業所	茨城県つくばみらい市
茨城センター	茨城県稲敷郡
関西事業所 (インプル)	滋賀県近江八幡市

② 子会社

名称	所在地
株式会社中セキ北海道	北海道岩見沢市
株式会社中セキ東北	宮城県岩沼市
株式会社中セキ関東	茨城県稲敷郡
群馬中セキ販売株式会社	群馬県前橋市
株式会社中セキ信越	新潟県新潟市
株式会社中セキ北陸	石川県金沢市
株式会社中セキ東海	愛知県安城市
三重中セキ販売株式会社	三重県津市
株式会社中セキ関西	兵庫県加古川市
株式会社中セキ中国	広島県東広島市
株式会社中セキ四国	愛媛県伊予市
株式会社中セキ九州	熊本県上益城郡
株式会社ISEKIアグリ	東京都荒川区
ISEKI France S.A.S.	フランスピュイドーム県オービエール市
ISEKI (THAILAND) CO.,LTD.	タイ チョンプリー県
株式会社井関松山製造所	愛媛県松山市
株式会社井関熊本製造所	熊本県上益城郡
株式会社井関新潟製造所	新潟県三条市
PT. ISEKI INDONESIA	インドネシア 東ジャワ州 ルンバン市
株式会社井関松山ファクトリー	愛媛県松山市
株式会社井関重信製作所	愛媛県東温市
北日本床土株式会社	北海道上川郡
株式会社井関物流	愛媛県松山市
株式会社ISEKIトータルライフサービス	東京都荒川区

夢ある農業総合研究所

皆様とともに農業の新しいステージへ

そこに行けば先端営農技術が見える

夢総研は、行政や研究機関、大学、企業、JA関係の皆さまと連携を強化し、最新の栽培技術、ロボット技術やICTを活用したスマート農業の研究・実証・普及・情報発信する拠点です。

「展示ホール」や「セミナー室」にて、映像等を活用しながら最新の栽培技術やスマート農機の展示等、夢ある農業の取組みをご紹介します。



野菜作機械化一貫体系の展示フロア

野菜作に関する機械化一貫体系をご紹介します。また、ご希望により、圃場での野菜作機械の体感・実演も実施しております。



各種セミナーの実施

省力・低コストや最新の栽培技術などスマート農業に関するセミナーを実施しております。

- 所在地：茨城県つくばみらい市青木560
- アクセス：【電車の場合】
秋葉原から最寄駅守谷駅まで約35分
つくばエクスプレス守谷駅より車で約7分
- 詳細につきましては、HPをご覧ください。

井関 夢総研

検索



つくばみらい事業所見学会のご案内

当事業所の施設は、行政・研究機関の方の研究や農業者の方の営農実証、普及を目的としておりますが、今回株主の皆様によりいっそう当社への理解を深めていただくことを目的に、施設見学会を開催させていただきます。つきましては、以下の内容にて見学会参加募集をご案内申し上げます。

- ① 日 時……2018年11月30日(金) 14:00～16:00(約2時間程度)
- ② 場 所……井関農機つくばみらい事業所 (茨城県つくばみらい市青木560)
守谷駅より送迎バスをご用意いたしますので、お車によるご来場はご遠慮ください
- ③ 対象者……2018年6月末現在、当社株式100株以上をご所有の株主様ご本人
なお、ご同伴者(小学生以上)は1名様まで可能
- ④ 人 数……ご同伴者を含め50名様 (応募者多数の場合は抽選とさせていただきます)
- ⑤ 参加費……無料(「守谷駅」までの往復交通費は株主様のご負担とさせていただきます)

応募方法

参加ご希望の株主様は、はがきに必要事項をご記入の上、ご郵送ください。
郵送料につきましては株主様にてご負担のほどお願い申し上げます。

締 切

2018年9月28日(金) 必着

参加のご連絡

ご応募多数の場合は抽選とさせていただき、結果はご応募いただいた株主様全員に2018年10月中旬頃に郵送にてお知らせいたします。

- ※ご注意 ●ご応募により取得する個人情報は、本見学会を実施するうえで必要な限りにおいてのみ使用いたします。
●本見学会の様子は、当社ホームページにて後日掲載させていただきます。

記入要領



はがき
表面

郵便はがき

切手
62円

〒116-8541

東京都荒川区
西日暮里5-13-14

井関農機 総務部
見学会係

はがき
裏面

- ①郵便番号
- ②ご住所
- ③株主様のお名前(ふりがな)
- ④電話番号
- ⑤株主番号
(中間報告書送付状の右下に記載されている9ケタの番号)
- ⑥ご同伴の方がいる場合の
同伴者のお名前

見学会に関するお問い合わせ先 ▶井関農機 総務部見学会係 電話 03-5604-7602

株式の状況 (2018年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 69,000,000株
- 発行済株式総数 22,588,897株
(自己株式396,096株を除く)
- 単元株式数 100株
- 株主数 20,304名
- 大株主 (上位10名)

大株主の氏名	所有株数(千株)
株式会社みずほ銀行	1,070
農林中央金庫	868
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	817
三井住友信託銀行株式会社	800
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	629
キセキ株式保有会	596
株式会社伊予銀行	580
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	434
井関営業・販社グループ社員持株会	431
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	384

(注) 当社は、自己株式396千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年12月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
(電話照会先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
全国各支店で行っております。

● 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

